

令和8年度  
「運営に関する計画」  
年度当初

大阪市立下新庄小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

**【安全・安心な教育の推進】**

生活指導部会での情報共有や月別目標や学校安心ルールに基づいた規範意識の向上の取り組みと共に、生活指導部を中心とした安心・安全な学校づくりへの徹底した取り組みを進めてきた。令和7年度末までの大阪市教育振興基本計画の【安全・安心な教育の推進】における目標はすべて達成してきた。今後もさらに全教職員が鋭敏な人権感覚を備え、児童全員に寄り添っていききたい。いじめを絶対に許さない学校づくりを念頭に、いじめの早期発見や早期解決を確実にやっていく。

不登校の児童に関しては、不登校の児童の割合を毎年前年度より減少させることができているが、今後も引き続き関係諸機関と連携していじめを絶対に許さない学校づくりをしながら、不登校児童の将来的な自立をめざした支援を進めていきたい。

校内アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は高い数値を示しているものの、わずかではあるが否定的に回答している児童もいる。否定的に回答した児童に光を当て、全ての児童が学校に自分の居場所を見つけ、自己肯定感や自己有用感を高められるような取り組みを行っていく必要がある。

**【未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

学力向上への取り組みについては、チャレンジタイムや年間を通した計画的な反復練習、チャレンジタイムでのプリント学習や学習教材データの活用、一人一台端末のデジタルドリルの活用など基礎・基本の定着に特化し、数年間にわたって学力の底上げを行ってきた。その結果、全国学力・学習状況調査や小学校学力経年調査における正答率において市平均より高く、学力の定着が確認できるまでになってきた。学力向上には、一昨年度まで研究教科を国語科とし、言語活動を通して読み取る力・応用する力の育成に取り組み、国語科において中学年以上では一定の成果を得ることができている。昨年度より算数科の研究を進めているがまだ緒に就いたばかりである。昨年度の大阪市学力経年調査においては、2つの学年が大阪市平均を下回った。基礎・基本の学力の定着とともに、全学年を通じて系統立てた取り組みをさらに進めていく必要がある。また、すべての教科において自分の考えを持ったうえで、他者と意見交流する対話的な学びを今以上に取り入れていく必要があると感じている。児童の体力に関しては、コロナ禍の影響により、ここ数年、顕著な低下が見られる。全国体力・運動能力、運動習慣調査等結果において、多くの項目で大阪市・全国の平均を下回る傾向にある。体力の向上について、休み時間や体育科の授業の中で積極的に体を動かすことのできる時間の確保やトップアスリートによる夢授業の開催など、運動に興味・関心が高まる工夫を今後も継続して行っていくことにしている。「運動することが好き」と思える児童の割合を増やすとともに、体力・運動能力の向上も図っていききたい。

**【学びを支える教育環境の充実】**

「心の天気」や「ナビマ」は日常的に活用し、学習者用端末の活用率は高い数値を維持するようになった。まず今年度は児童が自身の学びを進める手段の一つとして、自在にICT機器を有効活用する力を身につけさせる取り組みを進める。今後、児童が自分の意見をまとめたり、友だちと伝え合ったりできるように進める計画である。

児童にとって何よりも大きな教育環境である教師自身が、いつも元気でやりがいをもって教育現場に立ち続けられるようにしていく必要がある。業務改善の見直しを行い、児童に寄り添い伴走する時間をうみ出し、より質の高い教育を行うことが重要である。様々な状況の教職員にとって働きやすく働きがいがあり、質の高い教育を行える持続可能な学校にしていくことが喫緊の課題である。

全市共通目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度全国・学力学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

R8	: ⑥	%
R9	: ⑥	%
R10	: ⑥	%
R11	: ⑥	%

○令和11年度全国・学力学習状況調査における「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

R8	: ⑥	%
R9	: ⑥	%
R10	: ⑥	%
R11	: ⑥	%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度全国・学力学習状況調査（国語・算数）における平均正答率の対全国比を1.00にする。

R8	: ⑥国語	算数
R9	: ⑥国語	算数
R10	: ⑥国語	算数
R11	: ⑥国語	算数

○令和11年度小学校学力経年調査（国語・算数）におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率を1.0%にする。

経年調査	: R8国語	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R9国語	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R10国語	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R11国語	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

経年調査	: R8算数	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R9算数	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R10算数	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	: R11算数	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

○令和11年度全国・学力学習状況調査（国語・算数）における学力に課題の見られる児童の割合の全国との差を0%以下にする。

R8	: ⑥国語	%	算数	%
R9	: ⑥国語	%	算数	%
R10	: ⑥国語	%	算数	%
R11	: ⑥国語	%	算数	%

○令和11年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を1.00にする。

	<b>R8</b>	⑤男子	女子
	<b>R9</b>	⑤男子	女子
	<b>R10</b>	⑤男子	女子
	<b>R11</b>	⑤男子	女子

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

経年調査	<b>R8</b>	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	<b>R9</b>	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	<b>R10</b>	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査	<b>R11</b>	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

○令和11年度末における教員の1ヵ月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

<b>R8</b>	平均	時間
<b>R9</b>	平均	時間
<b>R10</b>	平均	時間
<b>R11</b>	平均	時間

**【安全・安心な教育の推進】**

**学校園の年度目標**

○令和8年度小学校学力経年調査における「学校は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を84.8%以上にする。【R7:84.7%】

経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

○令和8年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を79.7%以上にする。【R7:79.6%】

経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

**学校園の年度目標**

○令和8年度小学校学力経年調査（国語）における平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

経年調査 : R8 国語	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R9 国語	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R10 国語	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R11 国語	: ③	④	⑤	⑥

○令和8年度小学校学力経年調査（算数）における平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

経年調査 : R8 算数	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R9 算数	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R10 算数	: ③	④	⑤	⑥
経年調査 : R11 算数	: ③	④	⑤	⑥

○令和8年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を1.0にする。

R8	: ⑤男子	女子
R9	: ⑤男子	女子
R10	: ⑤男子	女子
R11	: ⑤男子	女子

**【学びを支える教育環境の充実】**

**学校園の年度目標**

○令和8年度小学校経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

経年調査 R8 :	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査 R9 :	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査 R10 :	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%
経年調査 R11 :	③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%

○令和8年度末における教員の1ヵ月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。

R8 :	平均	時間
R9 :	平均	時間
R10 :	平均	時間
R11 :	平均	時間

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																																																																																								
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○令和8年度小学校学力経年調査における「学校は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を84.8%以上にする。【R7:84.7%】</p> <table border="1"> <tr> <td>経年調査 R8</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R11</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>○令和8年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を79.7%以上にする。【R7:79.6%】</p> <table border="1"> <tr> <td>経年調査 R8</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>R11</td> <td>: ③</td> <td>%</td> <td>④</td> <td>%</td> <td>⑤</td> <td>%</td> <td>⑥</td> <td>%</td> <td>Ave</td> <td>%</td> </tr> </table>	経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%	
経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
経年調査 R8	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R9	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R10	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															
R11	: ③	%	④	%	⑤	%	⑥	%	Ave	%																																																																															

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールライフノートやいじめアンケートを活用して、いじめの早期発見、早期解決に取り組む、いじめはどんな理由があってもいけないことであるという態度を育てる。</li> <li>・「いじめについて考える日」に、児童朝会で話を聞いた後、感想を書くなど学年に応じた取り組みを行う。</li> </ul>	
<p>指標 校内アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を93.5%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R7（中間）：91.7%（最終）93.0%</p>	

<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に取り組む活動や地域・ゲストティーチャーと共に取り組む活動、異学年交流や体験的な活動、学校行事など児童が主体的に取り組む活動を実施し、魅力ある学校づくりを通して学校が楽しいと思う児童を増やす。</li> <li>・</li> </ul>	
<p>指標 校内アンケートにおける「学校は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96.2%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R7（中間）：91.7%（年度末）：96.1%</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月別目標や学校安心ルールをもとに学校のきまりを守ることを周知し、安全に安心して学校生活を送ることのできる環境づくりに取り組む。</li> <li>・月別目標に対しての振り返りのアンケートを毎月行い、結果を児童へフィードバックする。</li> <li>・委員会での活動の中で、学校のきまりについての呼びかけを行うなど、学校のきまりについて意識して学校生活を送ることができるような取り組みを実施する。</li> </ul>	
<p>指標 校内アンケートにおける「学校のきまりを守ることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">R7（中間）：91.7%（年度末）：89.9%</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年や学級でのグループ活動や行事、道徳や人権教育を通して、人と交流しながら互いを認めあい、思いやる心を育てる。</li> </ul>	
<p>指標 校内アンケートにおける「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を89.6%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">（年度末）Ave.89.5%</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度（後期）への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立下新庄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○令和8年度小学校学力経年調査(国語)における平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p style="text-align: center;"> <b>経年調査: R8国語: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R9国語: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R10国語: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R11国語: ③ ④ ⑤ ⑥</b> </p> <p>○令和8年度小学校学力経年調査(算数)における平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p style="text-align: center;"> <b>経年調査: R8算数: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R9算数: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R10算数: ③ ④ ⑤ ⑥</b>  <b>経年調査: R11算数: ③ ④ ⑤ ⑥</b> </p> <p>○令和8年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を1.0にする。</p> <p style="text-align: center;"> <b>R8: ⑤男子 女子</b>  <b>R9: ⑤男子 女子</b>  <b>R10: ⑤男子 女子</b>  <b>R11: ⑤男子 女子</b> </p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>・知識に関する理解力や活用力を高め、対話的深い学びに向けての授業改善に取り組む。(様々な問題に取り組む機会を作ったり、研究教科だけでなく他教科でも対話を取り入れたりする。)</p>	
<p>指標 全員授業の実施とともに学年の授業実践に取り組み、校内調査や学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80.6%以上にする。</p>	

**R8 校内調査（中間）：③%④%⑤%⑥%Ave% （年度末）：③%④%⑤%⑥% Ave%**  
**R9 校内調査（中間）：③%④%⑤%⑥%Ave% （年度末）：③%④%⑤%⑥% Ave%**  
**R10 校内調査（中間）：③%④%⑤%⑥%Ave% （年度末）：③%④%⑤%⑥% Ave%**  
**R11 校内調査（中間）：③%④%⑤%⑥%Ave% （年度末）：③%④%⑤%⑥% Ave%**  
**経年調査：R8：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %**  
**経年調査：R9：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %**  
**経年調査：R10：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %**  
**経年調査：R11：③% ④% ⑤% ⑥% Ave %**

取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

- ・チャレンジタイムや年間を通じた計画的な反復練習を通じて、継続的な基礎基本の学力の定着を図り、学力の向上に取り組む。

指標 小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点をいずれの学年も上回るようにする。

（単元評価問題や音読、漢字、問題集、学習教材データ、ICT機器の活用を図る）

**R8国語：③ ④ ⑤ ⑥**

**R9国語：③ ④ ⑤ ⑥**

**R10国語：③ ④ ⑤ ⑥**

**R11国語：③ ④ ⑤ ⑥**

**R8算数：R10算数：③ ④ ⑤ ⑥**

**R9算数：R10算数：③ ④ ⑤ ⑥**

**R10算数：③ ④ ⑤ ⑥**

**R11算数：③ ④ ⑤ ⑥**

取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】

- ・運動することの楽しさにふれあう機会を確保し、運動することに興味・関心を高めることができるような取り組みを実施する。

指標 小学校学力経年調査や校内調査における「体を動かすこと（体を使う遊びやダンス、スポーツなど）は楽しいですか？」に対して肯定的な「好き」と回答する児童の割合を89%以上にする。

**校内調査：R5（中間）：67.8% R5（年度末）：70.1%**

**校内調査：R6（中間）：68.8% R6（年度末）：72.8%**

**校内調査：R7（中間）：90.2% R7（年度末）：87.9%**

**経年調査：R5：③86.2% ④94.3% ⑤92.2% ⑥75.6% Ave 87.1%**

**経年調査：R6：③55.3% ④75.4% ⑤89.2% ⑥70.5% Ave 72.6%**

**経年調査：R7：③94.4% ④83.3% ⑤92.6% ⑥80.6% Ave 87.8%**

<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の授業や栄養指導の授業を通して、自らの食生活を振り返り、規則正しい生活を身につけることができるような取り組みを実施する。</li> </ul>	
<p>指標 校内調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的な回答をする児童の割合を94%以上にする。</p> <p style="text-align: right;"> <b>R5 (中間) : 93.5%    R5 (年度末) : 95.3%</b>  <b>R6 (中間) : 93.2%    R6 (年度末) : 93.8%</b>  <b>R7 (中間) : 94%    R7 (年度末) : 96.5%</b> </p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度(後期)への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立下新庄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>【学校園の年度目標】</b></p> <p>○令和8年度小学校経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <p style="text-align: center;"> <b>経年調査 R8 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %</b>  <b>経年調査 R9 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %</b>  <b>経年調査 R10 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %</b>  <b>経年調査 R11 : ③ % ④ % ⑤ % ⑥ % Ave %</b> </p> <p>○令和8年度末における教員の1ヵ月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。</p> <p style="text-align: right;"> <b>R8 : 平均 時間</b>  <b>R9 : 平均 時間</b>  <b>R10 : 平均 時間</b>  <b>R11 : 平均 時間</b> </p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間でICT研修を年2回以上おこない、一人一台の学習者端末の使い方や授業実践例などについて学び合うことのできる場を設ける。</li> <li>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の53%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕</li> </ul> <p>指標 校内アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回のゆとりの日の設定や学校閉庁日の計画的な設定を通して教職員の働きやすい環境を整える。</li> </ul> <p>指標 ゆとりの日については、週1回設定する。</p>	

学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては、3日以上設定する。	
<p>取組内容③【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進に向けて読書環境の整備を行い、読書習慣の形成に取り組み読書好きな子どもの育成に取り組む。(各学級での取り組みを中心として読書への関心を高める取り組みを進める。図書館の利用率を高める・学級図書の実充など)</li> </ul>	
<p>指標 校内アンケートの「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向9、家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>社会福祉協議会や地域活動協議会などの地域の関係諸団体や地域ボランティア、地域人材を活用し、児童と地域のつながりができる取り組みを実施する。</p>	
<p>指標 地域学校協働本部やコミュニティースクールなどの仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との共同による活動をおこなう。」校内アンケートの「学校は、地域・保護者の方と取り組む活動・授業を行っていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童・生徒の割合を94%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度（後期）への改善点